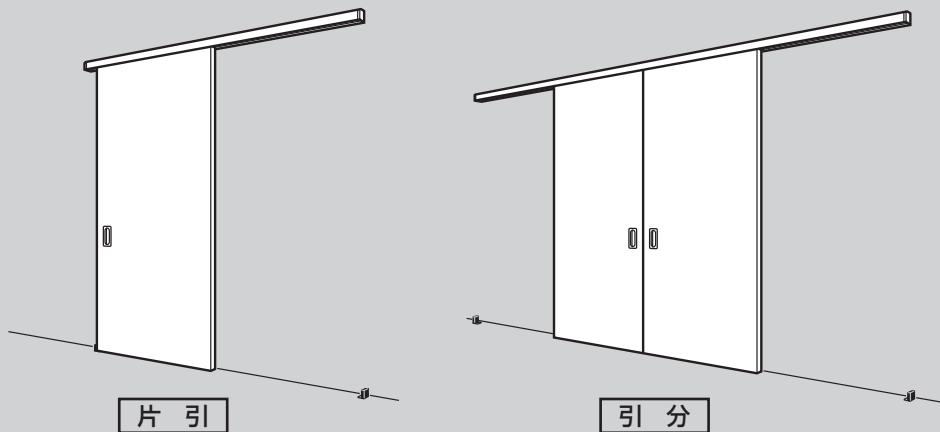


リビングドア アウトセット吊戸(ウッド扉)

間仕切戸 吊戸タイプ [アウトセット]
(スケルトン扉)

「施工業者様へのお願い」

●弊社では、お施主様が製品を安全に正しくご使用いただくためのお願い事項や
お手入れ方法などの重要な内容を記載した「取扱い説明書」を添付しております。
必ず、お施主様に手渡しいただきますようお願いします。
(取扱説明書は <https://www.daiken.jp/qr/manual/> よりダウンロード可能)



もくじ

安全上のご注意	1
1. ラクラクローズ機能について	2
2. 全体図	2
3. 部品・部材の確認	3
4. 施工手順	4~12
5. 尺法図	13~16
取扱説明書	17~18

- この製品の性能と安全性を確保するために、この施工説明書をよくお読みいただき、手順通りに正しく施工してください。
- この説明書に出てくる !, ✖ マークや お願い は、施工上重要な内容が記載されていますので、注意深く読み、よく理解してから作業してください。
- 梱包材や残材は、法律に従って適切に処理してください。
- 製品を廃棄する際は、法律および地方自治体の規則に基づいて適切に処理してください。

■施工の際は以下の工具をご用意ください。

- 電動ドリル (+2番ピット)
- コンベックス等測定機器
- 下げ振り
- ハンマー
- 水準器
- 丸ノコ
- 手回しドライバー

安全上のご注意 (必ずお守りいただきたいこと)

弊社製品を長時間安全に使えるよう施工するために、またトラブルのない確実な施工をしていただくために、以下のことを必ずお守りください。

警告表示の種類と内容

	警告	誤った取扱いにより死亡や重傷などに結びつく可能性のある内容
	注意	誤った取扱いにより傷害または家屋・家財などの損害に結びつく内容

本文中に使われている図・記号の意味は次のとおりです。

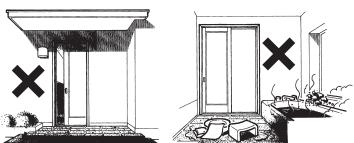
	してはいけない内容です		必ず実行していただく内容です		お願い 留意事項、操作方法、使用・お手入れ方法等
--	-------------	--	----------------	--	--------------------------

施工上のご注意

警告	
	<ul style="list-style-type: none">下地補強がない壁に施工しない。下地が不十分な場合、扉が脱落してケガをするおそれがあります。

注意	
	<ul style="list-style-type: none">本説明書で「現場手配」と明記の無いもの以外は必ず付属の金具・ねじで施工してください。付属の金具・ねじで施工されていないと、商品を確実に固定できず、破損・落下・転倒によりけがをするおそれがあります。上吊車の扉への差し込みは確実に行ってください。差し込みが不十分ですと、扉がはずれてしまい、危険です。レールの軀体への固定を確実におこなう。施工は、本説明書にしたがって確実におこなう。ビスの締め付け不足、またはビスの締め過ぎによる空回りの状態に注意してください。製品が外れて、けがや破損のおそれがあります。

この製品は一般住宅用の室内用建具です。
他の用途へのご使用はおやめください。



・土壁などの場合、取り付けはできません。

本説明書は当社カタログに掲載の標準品に準じた寸法を表示しております。
特注・特寸で製造した製品については、現品のサイズ・加工などを確認のうえ施工してください。

工事が完成するまでの間、扉は立てかけて保管しないでください。

施工するまで保管するときは、湿気が高い場所や直射日光がある場所を避けてください。

扉は水平な場所に平積みして保管してください。

工事が完成するまで、製品をダンボールなどで養生してください。その際、養生テープを製品に直接貼らないでください。

照明灯、ストーブなどを近づけすぎないでください。
熱によるシート変色、ふくれ等の原因となります。

扉・枠及び金具、ガラスに工具などをぶつけたり、運搬時にひきずらないようにご注意ください。
傷をつけるおそれがあります。



1. ラクラクローズ機能について

●ラクラクローズ機能とは・・・

吊戸を開閉する際に起こるはね返りを防ぐダンパー機能です。
扉の上部及び鴨居の両端に特殊な金具を採用しています。

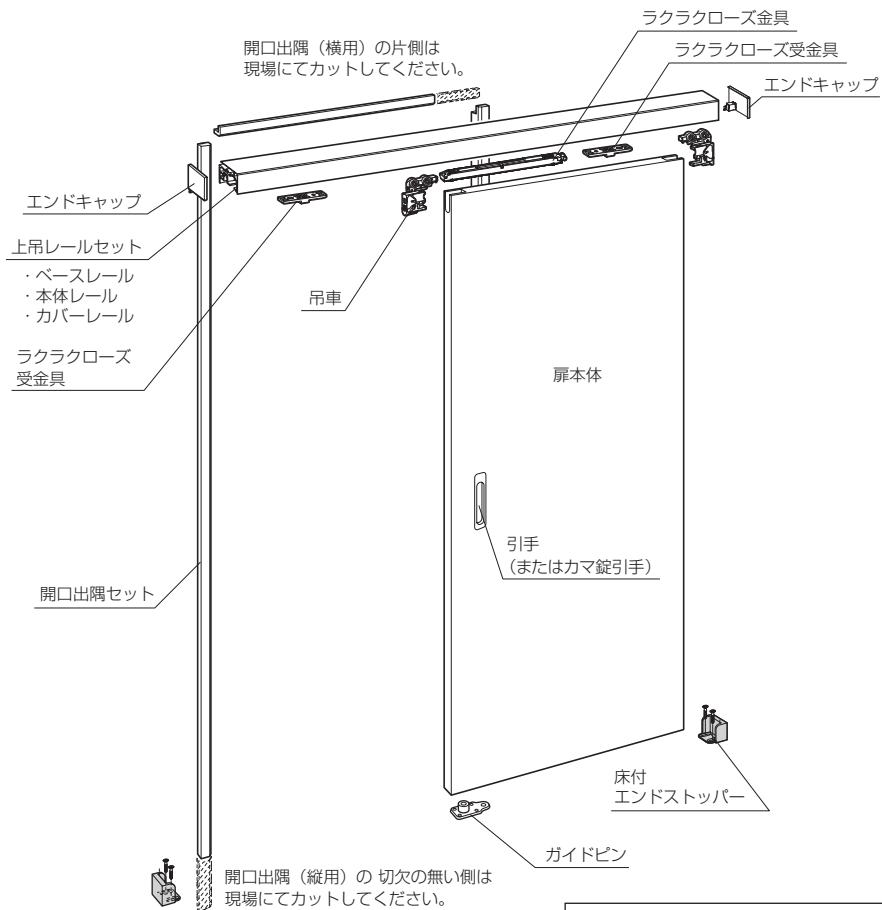
●扉および枠の施工は、必ず本書の施工手順にしたがっておこなってください。
誤った施工は部品の損傷や故障の原因となります。

●ラクラクローズ機能は、扉本体の重量や室温によって速度が多少変化いたします。

●ラクラクローズ金具に油やグリス等を注入しないでください。機能の低下・故障の原因となります。

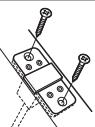
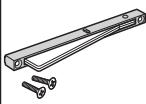
●ラクラクローズ機能によって扉が引き込みきる前に力をかけて引き込まないでください。機能の低下・故障の原因となります。

2. 全体図 (開口出隅セット納まりの場合)※この他、無目枠納まりもあります。

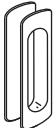


3. 部品・部材の確認

■錠タイプ扉同梱

部品名	戸先錠	錠受	引手位置決めブロック
姿図			
ウッド	片引	—	—
	片引 (錠タイプ)	1	1
	引分	—	—
スケルトン	片引	—	—
	引分	—	—

■扉別梱品

引手／カマ錠引手	すき間隠しパッキン
	
(2本入／梱)	
1セット	—
(カマ錠) 1セット	—
2セット	1梱
—	—
—	1梱

■レールセット同梱品

部品名	カバーレール	ベースレール	本体レールセット						
			本体レール	ウッド用吊車	スケルトン用吊車	ラクラクローズ金具	ラクラクローズ受金具	関止金具	
姿図									
※吊車に連結済み									
ウッド	片引	1	1	1	2	—	1	2	—
スケルトン	引分	1	1	1	4	—	2	4	1
スケルトン	片引	1	1	1	—	2	1	2	—
スケルトン	引分	1	1	1	—	4	2	4	2

■オプション品

部品名	エンドキャップ	床付ガイドピン	床付エンドストッパー	レール固定用ビス	
姿図	 エンドプレート (左右1枚ずつ)  エンドベース (左右1個ずつ)  $\text{皿} \phi 4 \times 25$ (2本/セット)				
ウッド	片引	2	1	2	8
スケルトン	引分	2	2	2	14
スケルトン	片引	2	1	2	8
スケルトン	引分	2	2	2	14

巾木付ガイドピン／枠付ガイドピン	巾木付エンドストッパー	入隅縦枠
  (2個入/梱)		
1梱	1梱	1梱
2梱	1梱	—
1梱	1梱	—
2梱	1梱	—

4. 施工手順

準備

①開口部下地の準備

開口部の下地確認

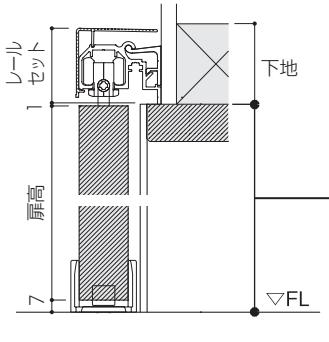
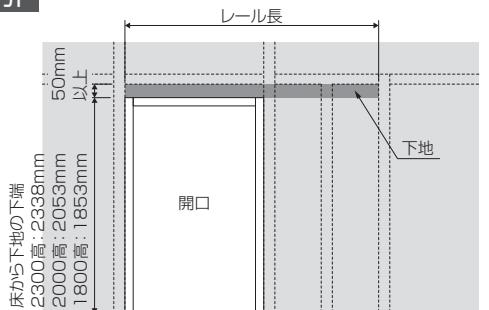
- 開口上部に下地があることをご確認ください。
無い場合は補強材（現場調達）を入れてください。

（下記の寸法は、標準扉高／床付エンドストッパー使用時です。特注寸法時は「5.寸法図」を参照いただき、正しい位置に下地があることを確認ください。）

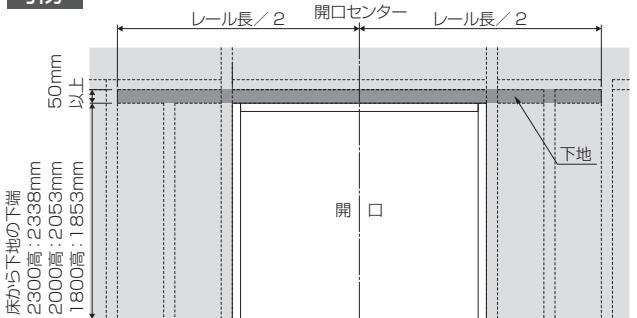
⚠ 警告

必ず間柱や合板12mm厚以上の十分な下地に固定してください。下地が十分でないと扉が落しケガをする恐れがあります。

片引



引分



床から下地の下端まで
2300高 : 2338mm
2000高 : 2053mm
1800高 : 1853mm

※2300高は間仕切戸の場合です。
※1800高はリビングドアの場合です。

施工上のご注意

- 壁の仕上がりが合板またはプラスチックボードであることを確認してください。
土壁等の場合、ビス固定ができません。
- 開口部床面および床下地の材料が、木質で無い場合はオプション品の『枠付けガイドピンもしくは、巾木付けガイドピン（別売り）』をご使用ください。
※入隅納まりの場合はご使用いただけません。

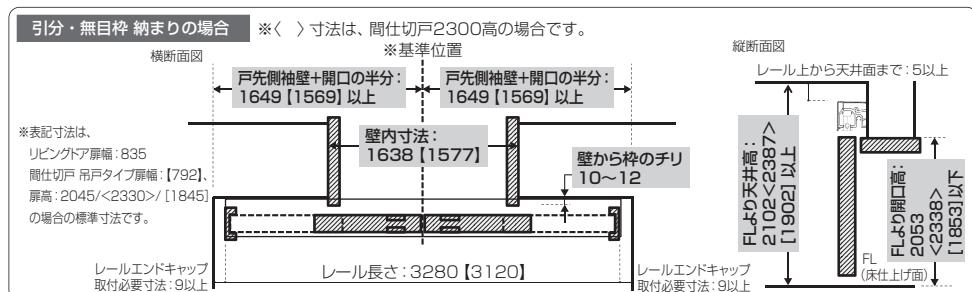
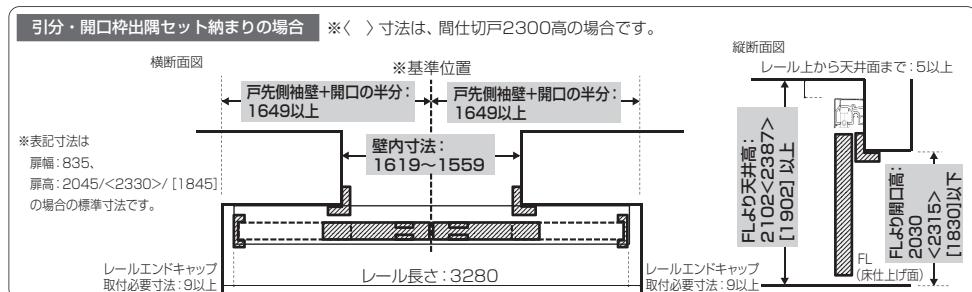
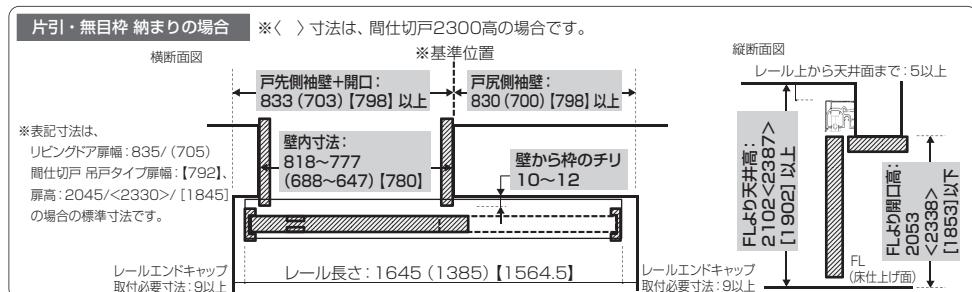
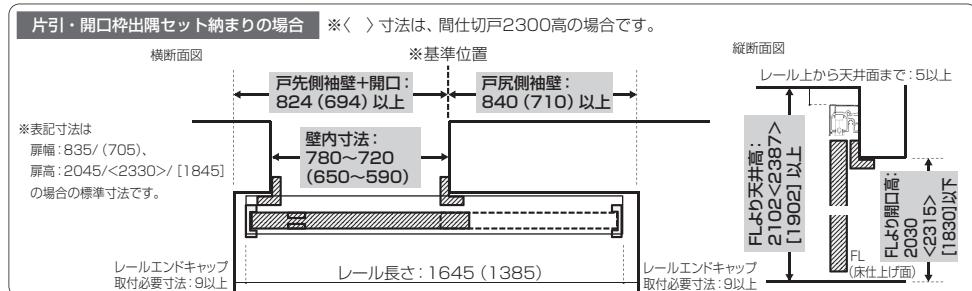
4. 施工手順 (つづき)

②開口部の準備

- 下記図の網掛け部分の寸法に従って、開口部を準備してください。

(寸法の単位はすべてmm)

*下記図は巾木の厚みが9mm以下の場合です。厚みが9mm以上ある場合はレールの外側をさらにを大きくとる必要がありますのでご注意ください。

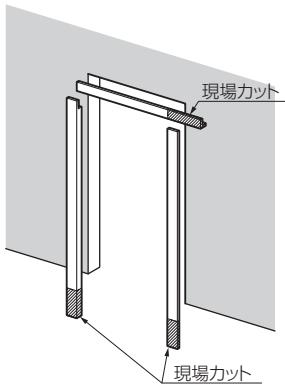


③造作材の取り付け

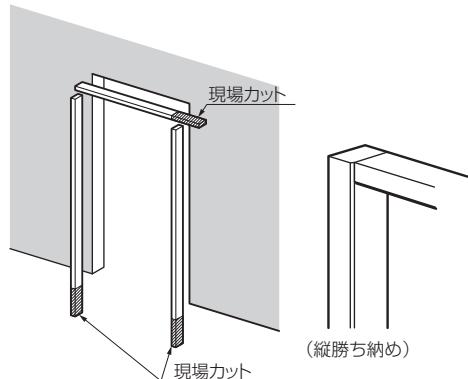
●開口出隅セット（別売り）の縦用出隅、横用出隅それぞれ現場に合わせてカットして縦勝ち納めで取り付けてください。

無目枠を使用される場合も同様に現場に合わせてカットしてください。

開口出隅



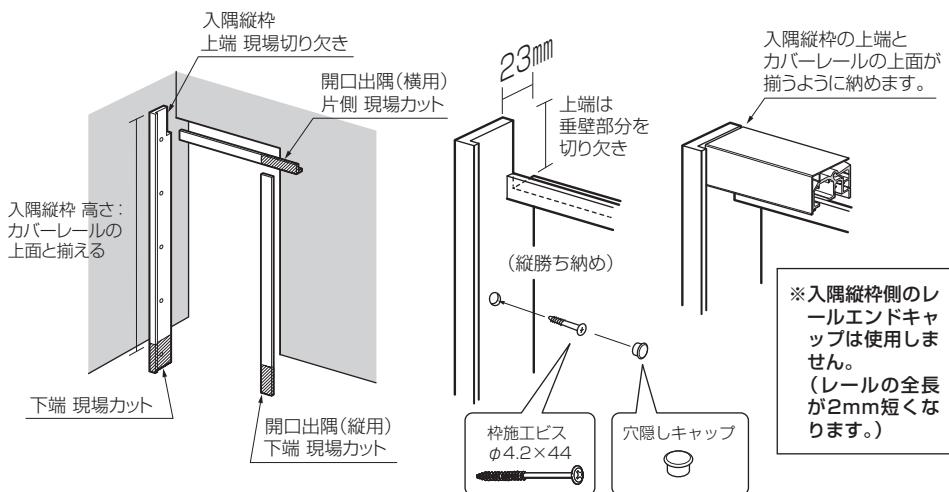
無目枠



●入隅縦枠を用いて納める場合（ウッド扉 片引のみ）

入隅部は、入隅縦枠と開口出隅セット（それぞれ別売り）を併用して納めます。

入隅縦枠は、下記の図のように上下を加工してから、壁面に専用ビスで固定してください。



4. 施工手順 (つづき)

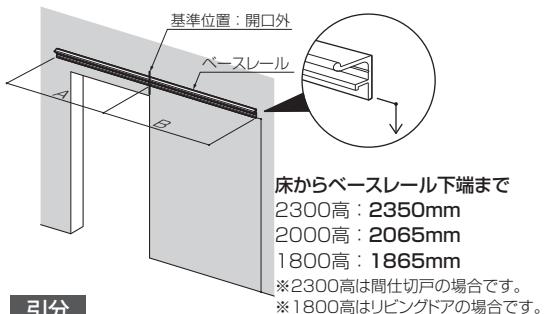
④ベースレールの取り付け位置確認

●以下のイラストを参考にベースレールの取り付け位置を確認してください。

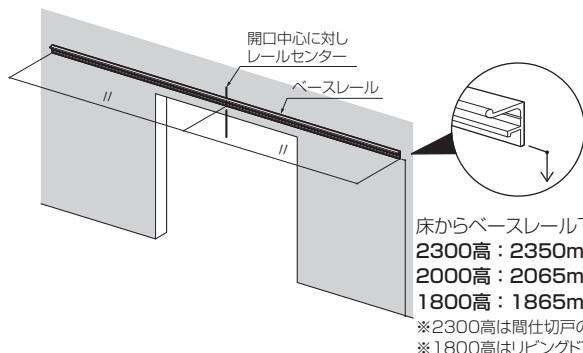
片引

イラストは右引きの場合

(左引の場合はレールが下イラストと対称に左側に飛び出すように取りつけてください。)



引分



※下記の寸法は、標準レール寸法標準扉
高／床付エンドストッパー使用時です。
特注寸法時は「5.寸法図」を参照ください。

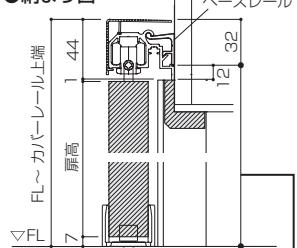
■開口出隅の場合

扉タイプ	扉巾	A	B
ウッド扉	835幅	814.5mm	826.5mm
	705幅	684.5mm	696.5mm

■無目枠の場合

扉タイプ	扉巾	A	B
ウッド扉	835幅	824.0mm	817mm
	705幅	694mm	687mm
スケルトン扉	797.5幅	793mm	778.5mm

●納まり図



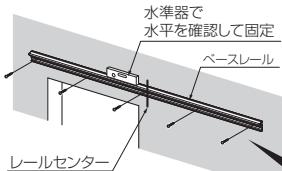
床からベースレール下端まで
2300高: 2350mm
2000高: 2065mm
1800高: 1865mm

【床からベースレール下端まで =
カバーレール上端 - 32mm】

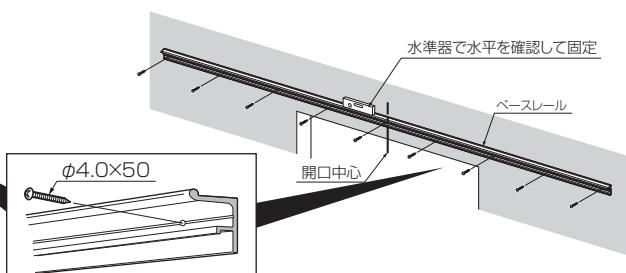
⑤ベースレールの固定

ベースレールを水準器で水平を確認しながら壁下地に固定してください。

片引



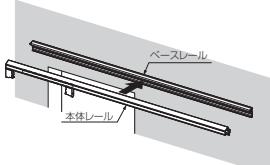
引分



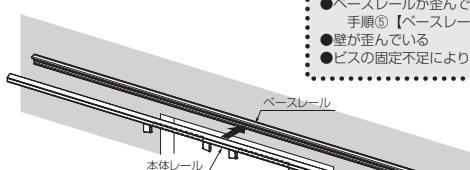
⑥本体レールの取り付け

1 本体レールをベースレールに引っ掛けてください。

片引



引分



施工上のご注意

本体レールとベースレールが嵌まらない場合

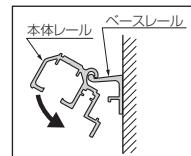
下記のような原因が考えられます。

●ベースレールが歪んで固定されている。

手順⑤【ベースレールの固定】参照

●壁が歪んでいる

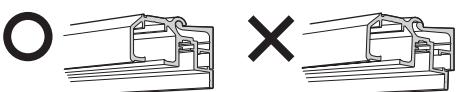
●ビスの固定不足により、レールとビスが干渉している



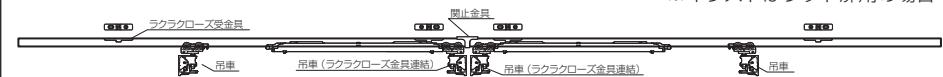
施工上のご注意

本体レール木口がベースレールの木口と面一になっていないことを確認してください。

×の状態だと手順⑨のエンドキャップが取付けにくくなります。

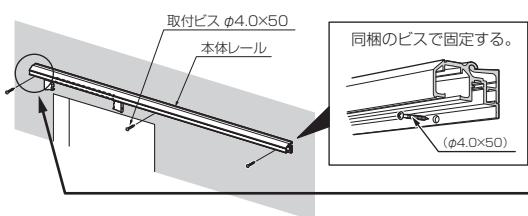


本体レールには下イラストのように部品が取り付けられています。左右勝手に関わらず取付位置は変わりませんので取り外さないでください。
※イラストはウッド専用の場合

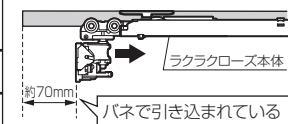


2 本体レールを同梱のビスで固定してください。

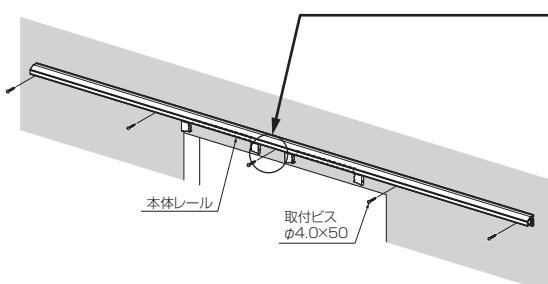
片引



吊車はラクラクローズ金具に内蔵されているバネで引っ張られています。
レールをビス固定する際は、吊車脱落防止シールを剥がし、吊車をバネで引き込まれない位置(70mmほど)までずらしてください。
※イラストはウッド専用の場合



引分

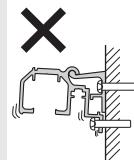


施工上のご注意

●本体レールが壁面に確実に固定されていることをご確認ください。

●固定が不足していると本体レー

ルが浮き上がりてしまします。



4. 施工手順 (つづき)

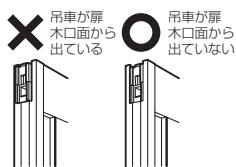
⑦扉の吊りこみ

●扉の横木口から吊車を差し込んでください。

ウッド扉



スケルトン扉



△ 注意

必ず吊車が扉にしっかりと差し込まれて
いることを確認してください。

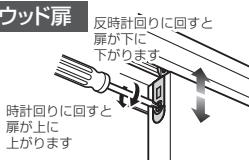
⑧扉の建付け調整

●扉の建付けを吊車で調整してください。

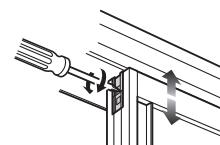
上下

調整範囲 上 3mm 下 2mm

ウッド扉



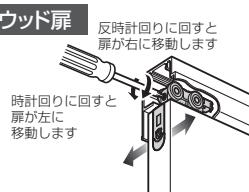
スケルトン扉



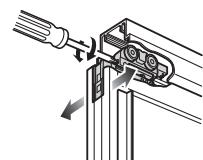
前後

± 2mm

ウッド扉



スケルトン扉



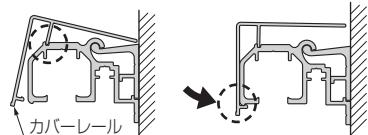
電動ドライバーの使用禁止

⑨カバーレールとエンドキャップの取り付け

●カバーレールを下図のように取り付けてください。

①本体上側の溝に
図のように
引っ掛け

②カバー下端部を
軽くたたいて
はめる

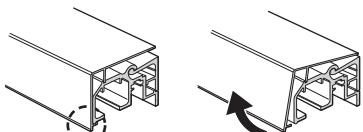


POINT

端側からレールの断面
を見ながらおこなう。

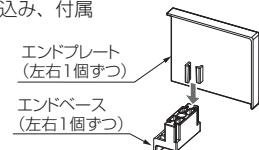
■カバーレールの取り外し方

カバーレールの正面下部を手前に引くと
外れます。(カバーレールの左右端部か
ら外しはじめると、容易に取り外せます)

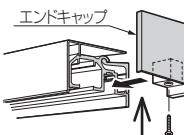


●カバーレールを取り付けた後、下図のようにエンドキャップを組み立て、レールの端部に差し込み、付属のビスで固定してください。

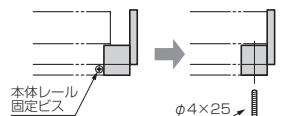
①エンドベースに、エンドブ
レートを差し込みます。
(図は右端部用/左端部は
左右反転します)



②組み立てたエンドキャップを、本体レールの端部に差し込み、専用の
ビスで固定します。

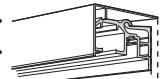
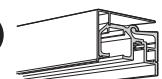


本体レールの固定ビスを覆うように
エンドキャップを差し込みます。



◆ 施工上のご注意

カバーレールが本体・ベース
レールよりも飛び出している
と、エンドキャップを取付け
られません。
レールの端面が揃うようにし
てください。



入隅納まりの施工方法について

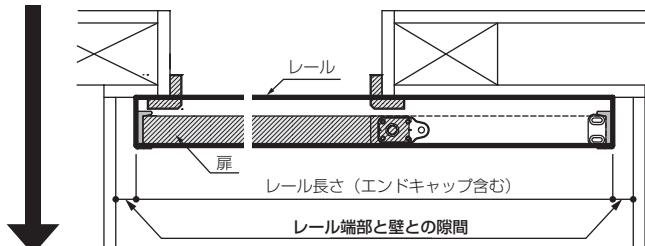
アウトセット吊戸を入隅（壁際）に施工される場合は、以下の手順に沿って施工されるようお願いいたします。

●入隅縦枠と開口出隅枠を用いて納める場合

→ 前述の施工手順に沿って施工してください。

●入隅縦枠を用いない／無目枠を用いて納める場合

I : レール端部と壁の隙間の寸法を確認ください。



施工上の注意

レール端部の左右どちらかは、必ず壁から9mm以上の隙間があることを確認してください。カバーレールが取り付けられなくなります。

●隙間の寸法が 25mm以上の場合

→ 前述の施工手順に沿って施工してください。

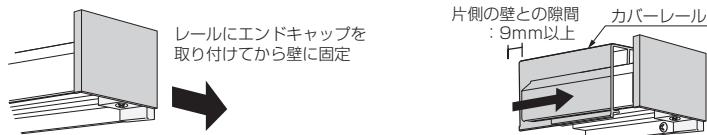
●隙間の寸法が 0~24mm の場合

※レールの端部と壁の隙間が小さく、レールを施工後にエンドキャップをつけることができません。

レールを施工する前に、レールにエンドキャップを取り付けてから壁に固定します。

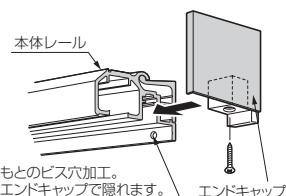
※また、エンドキャップを取り付けた後に、カバーレールをスライドさせてはめ込むため、

レール端部の左右どちらかは、必ず壁から9mm以上隙間をあけてください。



→ 施工手順⑤「ベースレールの固定」まで施工をすすめたあと、以下II:からの施工手順に沿って施工してください。

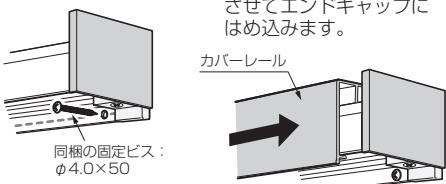
II : 本体レールを壁に固定する
前に、片側のエンドキャップ
を本体レールに固定します。



III : 本体レールに金属用ドリルで穴を
あけ、同梱のビスで壁に固定します。



IV : カバーレールを本体レール
に取り付け、横にスライド
させてエンドキャップに
はめ込みます。



V : レールの反対側も壁との隙間が 24mm以下の場合は、カバーレールを取り付ける前に、エンドキャップを本体
レールにはめ込み、本体レールの穴加工・壁固定、カバーレールの取り付けを終えたあとにエンドキャップを
正しい位置でレールに固定してください。

以降、手順⑦「扉の吊りこみ」からの施工手順に沿って施工してください。

4. 施工手順 (つづき)

⑩床付ガイドピンの取り付け

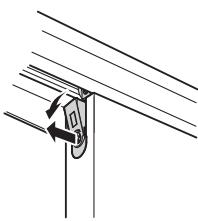
- 1 吊り込んだ扉を閉じた状態で下記の手順で位置出しをしてください。



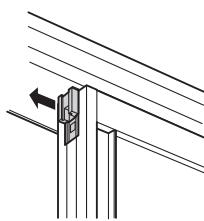
◆施工上のご注意
必ず手順9『扉の建付け調整』をしっかり行ってから取り付けてください。

- 2 扉両側の吊車をいったん外し、扉を外してください。

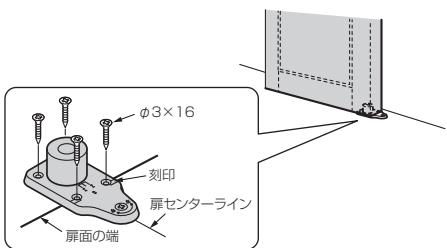
ウッド扉



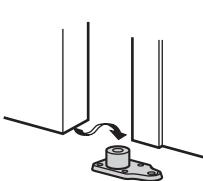
スケルトン扉



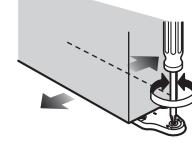
- 3 ガイドピンを①で位置出した場所に同梱のビスで取り付けてください。



- 4 扉をガイドピンにはめ込み、再び扉に吊車を差し込んでください。



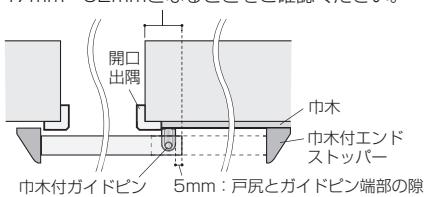
床付ガイドピンの調整方法
調整範囲 ±2mm



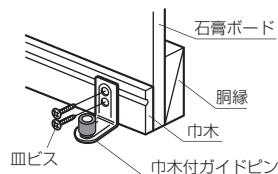
●巾木付ガイドピンを使用する場合

（施工の詳細は、巾木付ガイドピンに同梱の説明書を参照ください）

- 扉を閉めきったときの控え壁との重なり代が、
47mm～52mmとなることをご確認ください。



- 巾木付ガイドピンを取り付ける場所には、
必ず胴縁などの補強を入れてください。



◆施工上のご注意

扉を静かに開閉し、ガイドピンがガイド溝に触れないことを確認してください。

扉を上げすぎるとガイドピンに扉がかからない恐れがあります。その場合は再度吊車で高さ調整してください。

ガイドピンと扉のかかりが浅いと、扉がガイドピンから外れて脱落する危険性があります。

扉下木口と床面とのスキマは5mm以上あけてください。ガイドピンと扉下木口がこすれ、作動不良の原因となります。

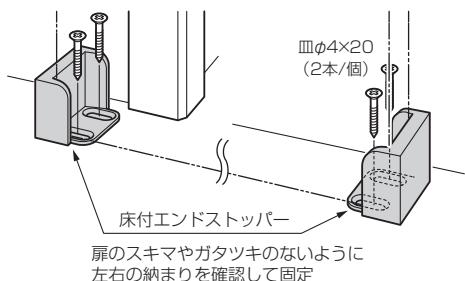
⑪錠金具とカマ錠引手の取り付け

- カマ錠タイプ扉には錠金具が付いております。

扉同梱の説明書をご参照ください。

⑫床付エンドストッパーの取り付け

●床付エンドストッパーを扉の端面に合わせて、同梱のビスで固定してください。

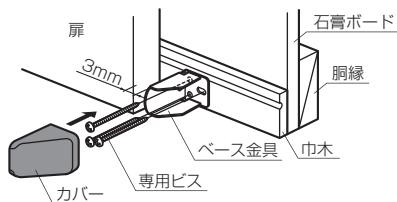


●巾木付エンドストッパーを使用する場合

〈施工の詳細は、巾木付エンドストッパーに同梱の説明書を参照ください〉

■床付同様、扉の端面に合わせて、同梱のビスで固定してください。

■巾木付エンドストッパーを取り付ける場所には、必ず胴縁などの補強を入れてください。



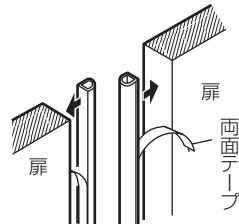
⑬パッキンの取付

引分の場合

扉と扉の中央部に同梱の引戸間隙間隠しを取り付けてください。

※隙間隠しは扉高に合わせてカットしてください。

※取り付け位置に注意してください。



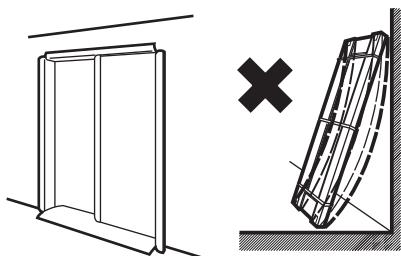
△ 互い違いになるように、取り付けてください。

⑭養生

工事が完成するまで扉・枠をダンボールなどで養生してください。

◆ 施工上のご注意

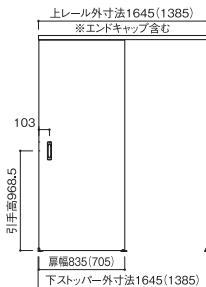
- 扉を壁にたてかけて保管しないでください。
- 扉は梱包ケースに再度入れ、平積み保管してください。



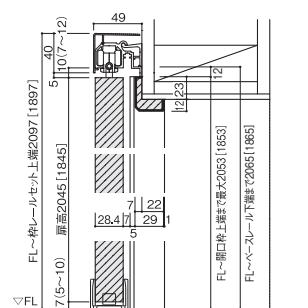
5. 寸法図

アウトセット吊戸・片引 開口枠出隅セット納まりの場合

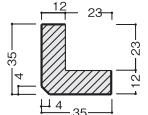
正面図 ※()は705幅の場合



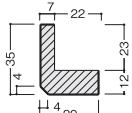
縦断面図 ※[]は1800高の場合



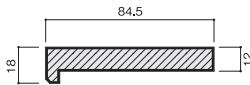
開口出隅セット 縦用断面図



開口出隅セット 横用断面図



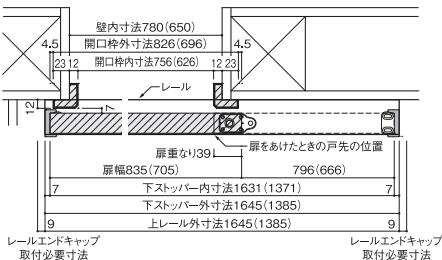
入隅セット 断面図



※片引のレールセットは、左右兼用です。
施工時に左右引をお選びいただけます。

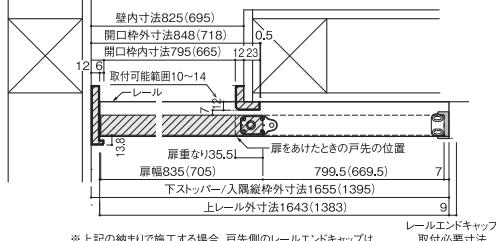
標準納まり

横断面図 ※()は705幅の場合



入隅納まり

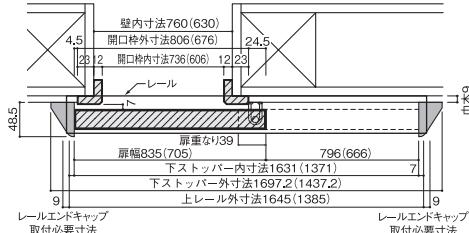
横断面図 ※()は705幅の場合



※上記の納まりで施工する場合、戸先側のレールエンドキャップは、
使用しません。

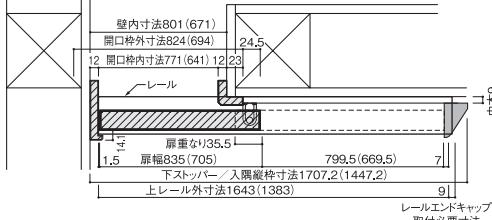
標準納まり(巾木付ガイドピンの場合)

横断面図 ※()は705幅の場合



入隅納まり(巾木付ガイドピンの場合)

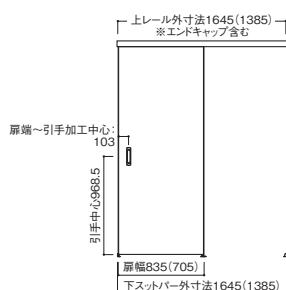
横断面図 ※()は705幅の場合



※上記の納まりで施工する場合、戸先側のレールエンドキャップは、
使用しません。

アウトセット吊戸・片引 無目枠納まりの場合

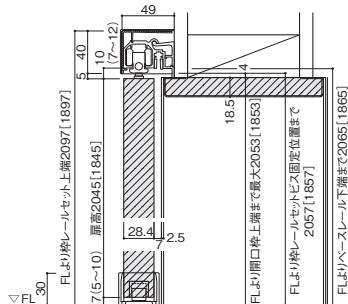
正面図 ※()は705幅の場合



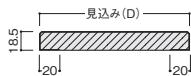
無目枠納まり 縦断面図

※[]は1800高の場合

※片引のレールセットは、左右兼用です。
施工時に左右引をお選びいただけます。

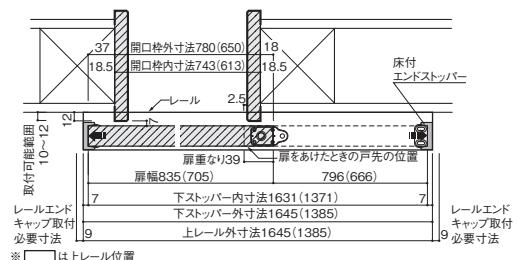


無目枠断面図



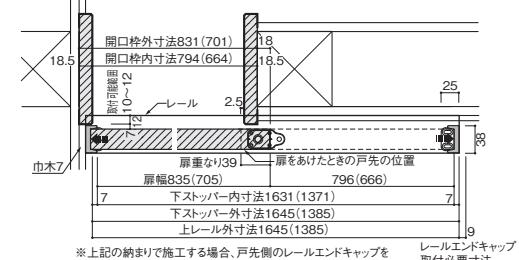
標準納まり

横断面図 ※()は705幅の場合



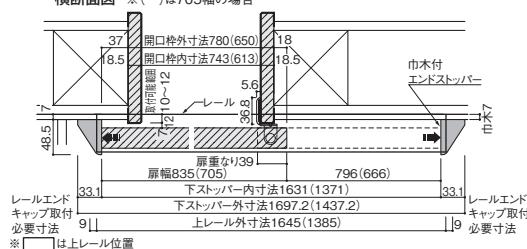
入隅納まり(105角柱、t12.5ボード厚の場合)

横断面図 ※()は705幅の場合



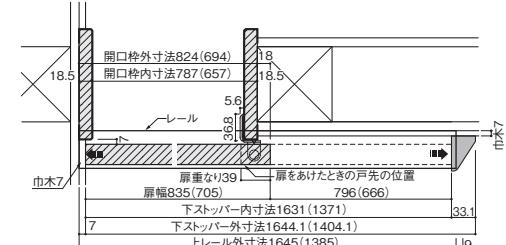
標準納まり(枠付ガイドピンの場合: 105角柱、芯寸法910の場合)

横断面図 ※()は705幅の場合



入隅納まり(枠付ガイドピンの場合: 105角柱、t12.5ボード厚の場合)

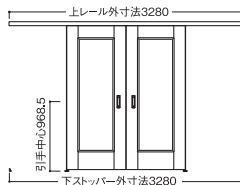
横断面図 ※()は705幅の場合



5. 寸法図 (つづき)

アウトセット吊戸・引分

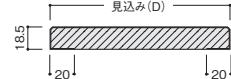
正面圖



開口出隅セット
縫用断面図

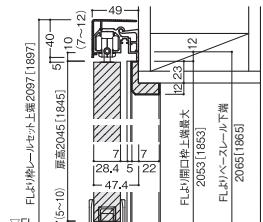
開口出隅セット
横用断面図

無目枠断面図

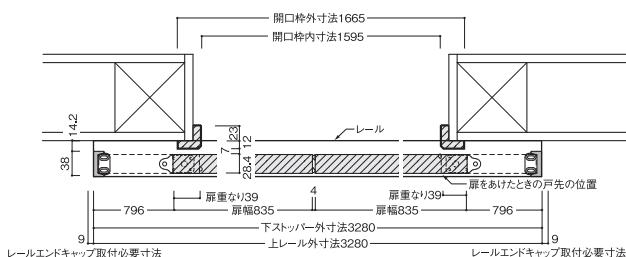


纵断面图

* []は1800高の場合

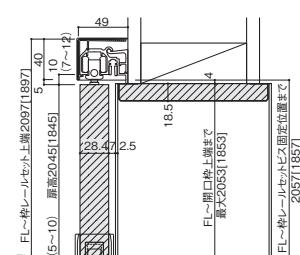


標準納まり 横断面図

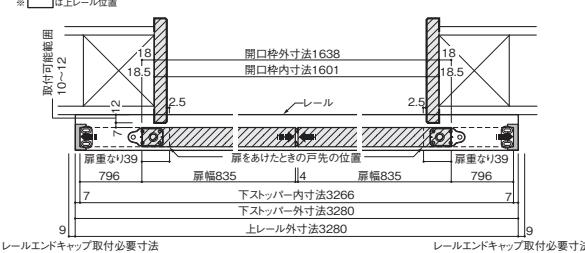


無目栓縦断面図

*「 」は1800高の場合



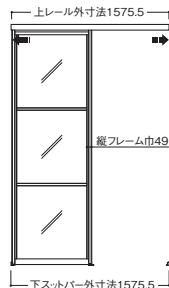
無目枠標準納まり ※□は上レール位置
横断面図



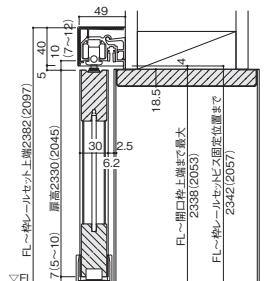
間仕切戸 吊戸タイプ [アウトセット] 片引 スケルトン扉

正面図

*図は横桟タイプ



縦断面図 *図は8尺高、()は7尺高の場合

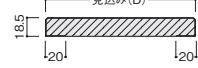


「ラクラクローズ」吊戸

(矢印の方向に扉を閉める時にゆっくり閉まります。)

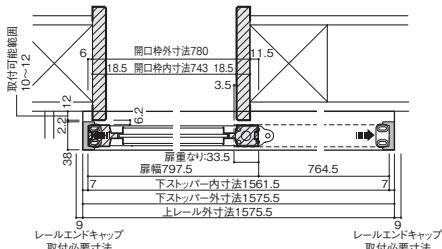
*片引のレールセットは、左右兼用です。
施工時に左右引をお選びいただけます。

無目枠断面図



標準納まり

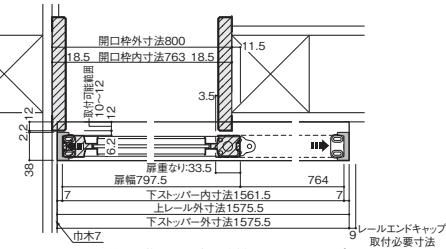
横断面図



レールエンドキャップ
取付必要寸法

入隅納まり

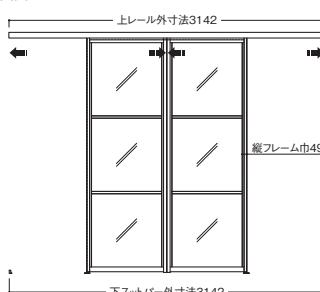
横断面図



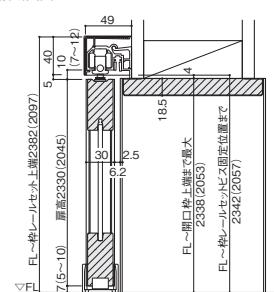
*上記の納まりで施工する場合、戸先側のレールエンドキャップを予めめた状態でレールを固定する必要があります。

間仕切戸 吊戸タイプ [アウトセット] 引分 スケルトン扉

正面図 *図は横桟タイプ



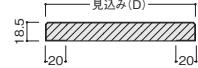
縦断面図 *図は8尺高、()は7尺高の場合



「ラクラクローズ」吊戸

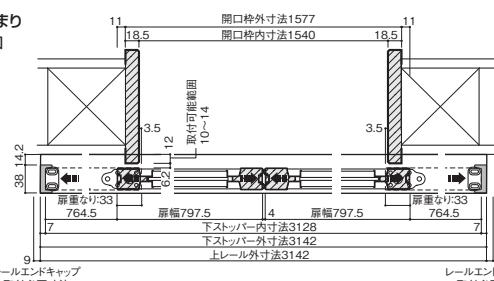
(矢印の方向に扉を閉める時にゆっくり閉まります。)

無目枠断面図



標準納まり

横断面図



レールエンドキャップ
取付必要寸法

取扱説明書

このたびは、DAIKEN製品をご採用いただきありがとうございます。

この説明書には、本製品の使いかたと使用上の注意事項を記載しています。

ご使用前に、よくお読みの上、正しくお使いください。

お読みになった後は、いつでも利用できるように、大切に保管してください。

この説明書に書かれた注意事項は、あなたや他人への危害や物的損害を防ぐためのものです。必ずお守りください。

警告表示の種類と内容



警告

取扱を誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合



注意

取扱を誤った場合、使用者が重傷を負う可能性が想定される場合および物的損害の発生が想定される場合



1. 安全上のご注意（必ずお守りいただきたいこと）

△ 注意

- 扉の開閉は、静かにゆっくり行ってください。

乱暴に扱うと扉が破損したり、脱落するおそれがあります。



- この製品の分解や改造はしないでください。

製品強度が失われ、けがや破損の原因になります。



- 扉を開閉するときは、指をはさまないように注意してください。

扉を開けるときに、扉と枠の間のすき間に指をはさま、けがをするおそれがあります。

特に乳幼児が単独で開閉操作を行わないよう、また、乳幼児が近くにいる時の扉の開閉に十分ご注意ください。



- 把手にぶら下がったり、扉にもたれかかったり、強い衝撃でぶつかったりしないでください。

扉が破損したり、脱落するおそれがあります。



2. 使用上のお願い

- ストーブなどの熱源を、扉に近づけないでください。扉が反ったり、表面がゆがんだりするおそれがあります。

- 扉や枠にテープを貼らないでください。塗装やシートが剥がれたりするおそれがあります。



ラクラクローズ機能について

●ラクラクローズ機能とは・・・

吊戸を開閉する際に起こるはね返りを防ぐダンパー機能です。

扉の上部及び鴨居の両端に特殊な金具を採用しています。

- ラクラクローズ機能は、扉本体の重量や室温によって速度が多少変化いたします。

- ラクラクローズ金具に油やグリス等を注入しないでください。機能の低下・故障の原因となります。

- ラクラクローズ機能によって扉が引き込みかる前に力をかけて引き込まないでください。機能の低下・故障の原因となります。



3. お手入れのしかた

下レールの溝のお手入れ

掃除機でゴミやホコリを吸いとってください。



●下レールの溝は、いつもきれいな状態にしておいてください。

ゴミがつまっていると、扉の走行障害になります。

扉・枠のお手入れ

●日常のお手入れは、乾拭きしてください。
鏡面タイプは扉を傷つけない様な布で拭いてください。(DIYやカー用品店などで販売している超極細繊維クロス等をご使用ください。)



□ 汚れを落とすときのご注意

アルコールやシンナー、ベンジンなどを使用しないでください。
表面のツヤが無くなったり、変色するおそれがあります。

樹脂板のお手入れについて

扉のデザインによっては樹脂板を使用しています。樹脂の特性上、お手入れにつきましては下記の点にご注意ください。

- ①乾いた布などの硬い布での清掃はキズの原因になります。
- ②ガラスクリーナーなどの有機溶剤は使用しないでください。
- ③水で拭いても落ちない汚れは薄めた中性洗剤(1%以下)を柔らかい布に付け、軽く拭いてください。

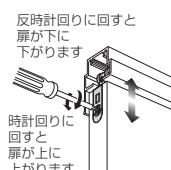
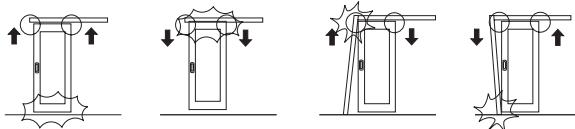


4. 調整方法

扉を上下・前後に調整する

上下調整

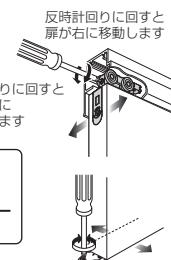
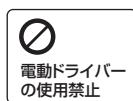
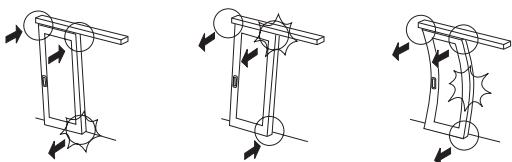
下図のような状態の場合、○印のついた箇所の戸車を矢印: → の方向に調整してください。



調整範囲 上3mm
下2mm

前後調整

下図のような状態の場合、○印のついた箇所の戸車を矢印: → の方向に調整してください。



調整範囲 ±2mm

■定期的な点検項目

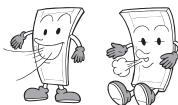
※製品の長期間の使用に伴い、部品等が劣化（経年劣化）を生じ安全上支障が出るおそれがあります。
経年劣化による重大事故を防止し、製品を長く安全にご使用いただくために、お客様自身による右記の点検を実施いただきますよう、お願いします。

点検部位	点検項目	兆候有無	経年劣化に伴う、具体的な事象
吊車	吊車が扉から抜けかけているか	有・無	・扉のガタツキ、脱落
床付ガイドピン	扉がスムーズに動くか	有・無	・扉のガタツキ

木質材料の性質について

木質ドアの「反り」について

木材を原料とする木質材料（合板、パーティクルボード、MDFなど）を加工してされた内装ドアは、空気中の水分を吸収したり放出したりすることにより、伸縮する特性を有しています。この空気中の水分の吸収・放出は内装ドア周辺の温度、湿度等の環境条件の変化に応じて発生するものであり、自然現象といえます。特に、内装ドアの室内面側と室外面側の環境条件が大きく異なる場合、「反り」という現象が発生することがあります。



製品の保証について

製品保証とは、保証期間、保証内容の範囲において故障が発生した場合に、無料で修理をお約束するものです。詳しくは、下記内容をご参照ください。

■対象製品 リビングドア

■保証項目

通常の環境下で、弊社の施工説明書・取扱説明書に準じた正常な施工・使用がなされている状態（前提条件）で、弊社の責任に起因する製品不具合（保証期間参照）を無料で修理します。尚、本内容は日本国内においてのみ有効です。

■保証期間

製品施工完了後2年とさせていただきます。弊社製品の施工完了後に生じた、弊社の責任に起因する製品の不具合を、無料で修理する期間としています。保証期間終過後の修理については有料となります。

■製品の不具合原因が次のような場合には、保証期間内であっても保証対象外になります。

- ①建物の設計・施工に起因する不具合
- ②施工説明書に記載された方法以外の施工内容に起因する不具合
- ③自然現象・周辺環境等（※1）の不可抗力に起因する結露、腐食、反り、割れ又はその他の不具合

「反り」の発生を出来るだけ抑える方法について

ご使用の環境や設置場所によって「反り」が発生する場合があります。「反り」の発生をできるだけ抑える方法として、次のことご注意ください。

- ①エアコン、暖房器具等をお使いになる場合は、内装ドアに直接熱風、熱気が当たらないようにしてください。
- ②夏場の冷房、梅雨時の除湿、冬場の暖房等により、室内と室外の環境条件の差を極端に大きくしないでください。
- ③内装ドアに直接日光が当たる場合は、窓辺にカーテン、すだれ等を設けて日光を遮ってください。

発生した「反り」は室内側と室外側の環境条件を近づける事によって、小さくなることがあります。

- ④室内であっても部屋内外の温湿度差が著しく違う部位に取り付けられたことによる隙間・反り・キミズなどの不具合
- ⑤極端に乾燥を繰り返したり、暑しく高温・多湿となる部位に取り付けられたことに起因する不具合
- ⑥建物自体の変形・入居後における増改築や改修等に起因する不具合
- ⑦入居者又は第三者の不適切な使用又は維持管理等に起因する不具合
- ⑧取扱説明書記載事項から逸脱した使用に伴う、消耗、磨耗、破損、変形などによる不具合
- ⑨経時変化による通常一般的な当該保証対象品の変色、汚れ、さび、かび、劣化磨耗などの不具合
- ⑩用途外に使用された場合の故障および損害
(例えば、一般家庭用を業務用に、屋内用を屋外に使用された場合等)
- ⑪犬・猫・鳥・鼠などの小動物の害に起因する不具合やキムシなどの虫害に起因する不具合
- ⑫仕上げ面のキズなどの不具合で引渡し時に申し入れがなかった場合
- ⑬保証期間経過後の申し出、または不具合発生後速やかに申し出がなかった場合
- ⑭製造時より実用化されていた技術では予測することが不可能な事象に起因する場合
- ⑮離島などの遠隔地へ出張を要する修理を行う場合、出張に要する実費
- ⑯その他当該不具合の発生が弊社の責によらない場合

* 1：火災・地震・水害・落雷などの天災地変や、公害・塩害・ガス害や異常な高温・低温・多湿・過乾燥などの周辺環境

ユーザー登録サービス

製品を未永く安全にご使用していただくために、
ユーザー登録をお願いいたします。

ご登録いただいたお客様情報は、製品安全に関する
大切なお知らせや暮らしに役立つ情報をDAIKENか
らご連絡する際に、利用させていただきます。

ユーザー登録は無料です！！

登録はこちらから

<https://www.daiken.jp/qr/user/>



お問い合わせ窓口について

●製品に関するお取扱い、補修、工事などのご相談は、組立て・設置業者、工務店へ。

製品に関するお問い合わせ

DAIKENお客様センター

0120-787-505
(フリーダイヤル)

●受付時間…平日9:00～17:00
(土・日・祝日・年末年始、お盆はお休みをいただいている)

<https://www.daiken.jp/qr/form01/>

メールで
写真も
送ることが
できます。



修理・交換部品のご購入の方は

DAIKENパーツショップ

部品のネット販売サイトです。
※購入に際しては登録が必要です。

<https://www.daiken.jp/qr/service/>

[DAIKENホームページ]▶[お客さまサポート]▶

▶▶▶ [DAIKENパーツショップ]



ご相談窓口における
個人情報のお取扱い

DAIKEN株式会社およびDAIKENグループ各社は、当社「個人情報の取扱いに関する方針（プライバシーポリシー）」に則ってお客様に関する個人情報を利用させていただく場合がございます。（DAIKEN株式会社 プライバシーポリシーに関しては、当社ホームページに掲載しております。）なお、電話での相談に対し、折り返し電話をさせていただくときのためにナンバーディスプレイを採用しています。またご相談内容を正確に把握し、適切に対応するために、連絡内容を録音させていただきます。

DAIKEN株式会社

DAIKENのホームページアドレス <https://www.daiken.jp/>

2025.09 現在